

## 《電子情報技術科 アドミッション・カリキュラムポリシー》

電子・情報技術者の仕事のやりがいは、今までできなかった技術課題を克服し、イメージしたものが出来上がった時の達成感と自分たちが製作に関わった電子機器が世の中の人々に広く使っていただける喜びです。電子情報技術科では、総合製作実習という科目の中で、毎年ソーラーカーレース鈴鹿をはじめ、琵琶湖でのクルーレスソーラーボート競技会やアイデアコンテスト等へ参加を通して、現在抱えているいろいろな課題や問題を克服しながら競争力のある製品作りに励んでいます。またこれら大会へチャレンジする中で、個人の課題解決能力やコミュニケーション能力の向上を図っていきます。多少勉強が苦手でも、

- ◆プログラムを作ることが好きな人、作ってみたいという意欲のある人
- ◆電子工作が好きな人、電子回路に興味がある人
- ◆ロボットなどの機器制御に興味のある人
- ◆チームで活動することが好きな人、相手の立場で考えられる人

是非一緒にやりたいことを実現しましょう。

---

近年、企業が求める人材も多様化し、ソフトウェア、通信ネットワーク、電子回路など複数のスキルを持った技術者へのニーズが高まっています。例えば現在自動車には100個以上のマイクロコンピュータが搭載されており、機械だけではなく、それを動かす電子機器やプログラムが不可欠となっております。電子情報技術科では、「目指せπ(パイ)型技術者」をモットーにマイクロコンピュータの知識をはじめハードウェアもソフトウェア両方のスキルを習得し、複数の高度な職業能力を身につける基礎を学ぶことで、地域に役立つ人づくりを目指しています。

※以前はI型技術者→T型技術者と言われてきましたが最近は2つ以上の専門性を持つπ型技術者が必要とされる時代になりつつあります。

---

滋賀職業能力開発短期大学校には人をつくる場があります、将来何がやりたいかがわからなかった新生も2年後には明確な目標を持つことで間違いなく変わるはずで。就職にあたっては、少人数制という特徴を活かし、まずは一人一人が自信を持てる専門科目やスキルを自らが見つけ出せるよう日々サポートし、それに合った企業へのきめ細かなジョブマッチングを行うことで、就職率 100%を目指して、地域産業・企業が求める人材を輩出し、地域発展に貢献しています。

---

Key Word 優れた技術者は、同時に優れた技能者である。